

CASBEE-建築(新築)2016年版
 トオカフーズ株式会社 (仮称) 千葉柏工場建設プロジェクト

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト: CASBEE 柏2016(v2.1)

スコアシート		実施設計段階						
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体		
Q 建築物の環境品質						2.9		
Q1 室内環境								
1 音環境								
1.1 室内騒音レベル		-	-	-	-	-		
1.2 遮音		-	-	-	-	-		
1 開口部遮音性能		-	-	-	-	-		
2 界壁遮音性能		-	-	-	-	-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	-	-	-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	-	-	-		
1.3 吸音		-	-	-	-	-		
2 温熱環境								
2.1 室温制御		-	-	-	-	-		
1 室温		-	-	-	-	-		
2 外皮性能		-	-	-	-	-		
3 ゾーン別制御性		-	-	-	-	-		
2.2 湿度制御		-	-	-	-	-		
2.3 空調方式		-	-	-	-	-		
3 光・視環境								
3.1 昼光利用		-	-	-	-	-		
1 昼光率		-	-	-	-	-		
2 方位別開口		-	-	-	-	-		
3 昼光利用設備		-	-	-	-	-		
3.2 グレア対策		-	-	-	-	-		
1 昼光制御		-	-	-	-	-		
3.3 照度		-	-	-	-	-		
3.4 照明制御		-	-	-	-	-		
4 空気質環境								
4.1 発生源対策		-	-	-	-	-		
1 化学汚染物質		-	-	-	-	-		
4.2 換気		-	-	-	-	-		
1 換気量		-	-	-	-	-		
2 自然換気性能		-	-	-	-	-		
3 取り入れ外気への配慮		-	-	-	-	-		
4.3 運用管理		-	-	-	-	-		
1 CO ₂ の監視		-	-	-	-	-		
2 喫煙の制御		-	-	-	-	-		
Q2 サービス性能			0.44				3.3	
1 機能性								
1.1 機能性・使いやすさ		-	-	-	-	-		
1 広さ・収納性		-	-	-	-	-		
2 高度情報通信設備対応		-	-	-	-	-		
3 バリアフリー計画		-	-	-	-	-		
1.2 心理性・快適性		-	-	-	-	-		
1 広さ感・景観		-	-	-	-	-		
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-	-		
3 内装計画		-	-	-	-	-		
1.3 維持管理		-	-	-	-	-		
1 維持管理に配慮した設計		-	-	-	-	-		
2 維持管理用機能の確保		-	-	-	-	-		
2 耐用性・信頼性		2.9	0.50				2.9	
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50					
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80					
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20					
2.2 部品・部材の耐用年数		3.4	0.30					
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20					
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20					
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	床:ウレタン20年、壁:鋼板40年、天井:鋼板40年	5.0	0.10					
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10					
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水汚水雑排水管の主要3種についてB以上、Eを不使用	5.0	0.20					
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20					
2.4 信頼性		2.2	0.20					
1 空調・換気設備		1.0	0.20					
2 給排水・衛生設備		1.0	0.20					
3 電気設備		3.0	0.20					
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20					
5 通信・情報設備		3.0	0.20					
3 対応性・更新性		3.7	0.50				3.7	
3.1 空間のゆとり		4.6	0.30					
1 階高のゆとり	階高3.9m以上確保	5.0	0.60					
2 空間の形状・自由さ	2階:壁長さ比率=0.10	4.0	0.40					

3.2	荷重のゆとり	4500N/m ² 以上確保	4.0	0.30		-	
3.3	設備の更新性		3.0	0.40		-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20		-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20		-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10		-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10		-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20		-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	
Q3	室外環境(敷地内)		-	0.56		-	2.7
1	生物環境の保全と創出		2.0	0.30		-	2.0
2	まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40		-	3.0
3	地域性・アメニティへの配慮		3.0	0.30		-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50		-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50		-	
LR	建築物の環境負荷低減性		-	-		-	3.0
LR1	エネルギー		-	0.40		-	2.7
1	建物外皮の熱負荷抑制	BPI _m =0.77	5.0	0.03		-	5.0
2	自然エネルギー利用		3.0	0.12		-	3.0
3	設備システムの高効率化	[BEI][BEI _m] = 0.89	2.5	0.61		-	2.5
4	効率的運用		3.0	0.24		-	3.0
	集合住宅以外の評価		3.0	1.00		-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50		-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50		-	
	集合住宅の評価		-	-		-	
4.1	モニタリング		-	-		-	
4.2	運用管理体制		-	-		-	
LR2	資源・マテリアル		-	0.30		-	3.3
1	水資源保護		3.4	0.20		-	3.4
1.1	節水	節水型水栓、擬音装置を採用	4.0	0.40		-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60		-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70		-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30		-	
2	非再生性資源の使用量削減		3.3	0.60		-	3.3
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.10		-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20		-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20		-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20		-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10		-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体+軽鉄+仕上で分別が容易で設備との錯綜を回避	5.0	0.20		-	
3	汚染物質含有材料の使用回避		3.3	0.20		-	3.3
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30		-	
3.2	フロン・ハロンの回避		3.5	0.70		-	
1	消火剤		-	-		-	
2	発泡剤(断熱材等)	発泡断熱材はノンフロン製品を採用	4.0	0.50		-	
3	冷媒		3.0	0.50		-	
LR3	敷地外環境		-	0.30		-	3.1
1	地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO ₂ 排出率が一般的な建物に対して95%	3.3	0.33		-	3.3
2	地域環境への配慮		2.8	0.33		-	2.8
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25		-	
2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50		-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制		2.5	0.25		-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25		-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.25		-	
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25		-	
3	周辺環境への配慮		3.2	0.33		-	3.2
3.1	騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40		-	
1	騒音		3.0	0.33		-	
2	振動		3.0	0.33		-	
3	悪臭		3.0	0.33		-	
3.2	風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40		-	
1	風害の抑制		3.0	0.70		-	
2	砂塵の抑制		-	-		-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30		-	
3.3	光害の抑制		4.4	0.20		-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害チェックリストの過半を満たす、広告物照明がない	5.0	0.70		-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	